

平成30年度 神奈川県立霧が丘高等学校不祥事ゼロプログラム

県立霧が丘高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

課 題	目 標	行 動
① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	公務外非行を行っている職員はゼロ	校内研修において、信用失墜行為についての理解を深め、公務員としてのいっそうの自覚を促す。特に職員間のコミュニケーションを密にし、報告・連絡・相談を速やかに行えるような体制をつくる。
② わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロ	校内研修において、わいせつ・セクハラ行為についての認識を深め、生徒が被害にあった場合の対応を確認させる。また生徒全体に対しても教員との適切なかかわり方について注意を呼び掛ける。
③ 体罰・不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導を行っている職員はゼロ	校内研修において、生徒・保護者の信頼を損なう体罰についての理解を深め、毅然とした適切な指導との違いを意識させる。特に、部活動合宿前に注意喚起を丁寧に行う。
④ 定期試験・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	定期試験・通知表等の作成、成績処理に係る事故件数ゼロ	校内研修において、定期試験や成績処理の事故防止について理解を深め、確認・照合作業の徹底を図る。特に、複数による点検作業、受理後の生徒による確認作業を強化するべく呼び掛ける。
⑤ 進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	調査書・推薦書等の作成及び推薦等出願処理に係る事故件数ゼロ	校内研修において、生徒や保護者との信頼関係を損なうことのないよう、調査書作成や推薦入試等の確実な業務遂行を図る。特に予備会議での慎重な点検、本会議での基準書との照合作業を強化する。
⑥ 入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故件数ゼロ	校内研修において、個人情報の保護を遵守し、公正な入学者選抜を行うための共通理解を図り、事故防止を徹底する。特に事前に起こるべくリスクを想定して準備し、常にゆとりを持った作業を心掛ける。
⑦ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	答案用紙や生徒の個人情報の紛失等の事故件数ゼロ	校内研修において、定期試験の答案用紙等の紛失などの注意を徹底し、個人情報保護と情報セキュリティに関する意識を高める。今年度は採点日の活用により余裕を持った採点作業を行う。
⑧ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故件数、酒酔い・酒気帯び運転に係る交通違反件数ゼロ	校内研修を通じて、飲酒運転による交通事故・交通違反の代償の大きさを認識させ、交通法規の遵守について徹底を図る。特に、年末には具体例を挙げながら不必要な運転を控えるよう注意喚起する。
⑨ 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行に係る事故件数ゼロ	校内研修において、日頃から情報共有を図り、学校内外の状況を把握し、点検することの大切さを認識させる。特に、複数による業務体制を確立し、相互に確認しあうことを習慣化する。
⑩ 会計事務等の適正執行	会計事務に係る事故件数ゼロ	校内研修において、公正な会計処理を行うため、私費会計基準について周知を図り、適切な事務の方法を理解させる。特に生徒から預かった現金の管理への迅速・適切な処理について徹底する。

